

# 北ぐに

令和7年(2025年)3月25日(火)発行



## ～令和6年度の教育活動について「学校評価保護者アンケート結果報告」～

11月に、生徒および、保護者の皆様を対象に、栄中学校をよりよくしていくための資料づくりとして、「学校評価アンケート」を実施させていただきました。その集計結果をご報告します。今後は来年度に向けて、今回の結果をふまえて改善すべき点については、すぐにでもその方策を考えていきたいと思えます。また、『本校の教育活動をよりよくするためのご意見』の記述欄に寄せられた声についても真摯に受け止め、今後の教育活動に活かして参ります。

※2月28日(金)に学校関係者評価委員会を開催し、学校評議員の皆様から外部評価をしていただきました。評価書は、学校ホームページで公開しておりますので、ご覧ください。

分野	項目	肯定的な回答の割合(昨年度)
学校経営	生徒の個性や多様性を認め、生徒一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる教育活動を行っていると思う。	80% (70%)
	学校教育説明会やPTA集会等を通して、教育方針を伝えていると思う。	92% (77%)
	生徒の意欲につながる適切でわかりやすい評価・評定に努めていると思う。	75% (64%)
	保護者や地域社会に対して、学校だよりやホームページ等を通して学校の様子を伝えていると思う。	88% (79%)
	学校公開日や懇談、行事等を通して、保護者が教育活動に参加しやすいように工夫していると思う。	90% (69%)
学習指導	基礎・基本となる知識・技能のより一層の定着をめざした学習指導の充実を図っていると思う。	78% (68%)
	わかりやすい授業に努め、生徒の理解度に気を配った内容になるよう努めていると思う。	71% (61%)
	道徳の授業や講演会などを通じて、命の尊さや思いやりの心の成長を育む教育活動を行っていると思う。	87% (73%)
	各学年(1年:校外学習・職業講話、2年:宿泊学習・職場体験、3年:修学旅行・上級学校訪問)において調べ学習・進路探究・キャリア教育を適切に行っていると思う。	94% (82%)
生徒指導	あいさつを含めた公共のマナーや、校外での決まりを守るよう指導していると思う。	85% (77%)
	教師が子どもたちの悩みや問題について、適切にかかわっていると思う。	73% (68%)
	いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいると思う。	83% (70%)
特別活動	学校行事をはじめ生徒会活動の充実を図っていると思う。	90% (76%)
	校内の環境美化に積極的に取り組んでいると思う。	96% (81%)

全体を通して、昨年度より肯定的な回答の割合が高く見られました。学校ホームページやすぐーの運用を工夫しながら、今後も保護者や地域に開かれた学校づくりを目指して参ります。

学習指導においては、「わかりやすい授業」に努め、校内研修会などの全職員の研修の場を大切に、他教科とも連携をとりながら、ICTを活用した授業やベーシックチャレンジなどの学習活動を工夫し、学力テストなどの分析をもとに成果を把握して授業改善を図っていきます。

～『本校の教育活動をよりよくするためのご意見』より～

### ①わかりやすい評価・授業について

→学習評価については、学力の三要素と評価の観点の関係性を踏まえ、各教科に共通するものと、教科の特性を踏まえて評価するものがあります。保護者の方には学校教育説明会や懇談の際に、生徒には学活や各教科の授業のオリエンテーション・授業の中で具体的に説明する機会を設けています。

また、学習面のサポートにつきましては、昨年度同様に、懇談期間・夏休みを利用した教科や学年での学習会を行いました。来年度もそのような取組を継続していきます。IT指導や少人数指導授業も工夫して行っていきます。

### ②学校公開日の実施日案内について

→『年間行事予定表』と『4月の学校公開日案内（裏面）』に年間の学校公開実施予定日を記載しておりました。また『月行事予定表』には翌月の主な行事予定欄に記載しておりますので、ご確認いただくと幸いです。

今後も「いつでも何度でも」保護者の方に来校していただけるように学校公開日をできるだけ多く設定して実施していきたいと思っております。

### ③行事について

→毎年、行事を含め教育活動全体を通して教育課程を見直しております。行事から得られる大事なものがあることも我々教師も十分承知しております。これからより時代に合った形で学校行事を検討して参ります。

### ④学校祭参観について

→現状として、体育館のステージ発表は所属学年のみで他学年の保護者を入れて公開するのは体育館の規模から考えると厳しいです。装飾についても校舎の構造上、生徒の移動と保護者の方の移動で廊下が混雑してしまうのと、対応できる教員が不足することから当日の公開はしておりません。

今年度は学校ホームページに各学年の写真を掲載しておりませんが、来年度は掲載して活動の様子をお伝えします。また、本校では、学校祭の装飾物は1か月後の学校公開日まで撤去せず残しておりますので、ぜひ、この機会を利用してご覧いただけますと幸いです。

### ⑤学校だより・学年だよりについて

→月行事予定・学校だよりは各ご家庭に配布し、学校ホームページにも掲載していますが、すぐ一読でもおたよりの家庭配付・ホームページ掲載のお知らせを確認できるようにいたします。紙物のみになっていた学年だよりについては、ホームページに掲載するか検討させていただきます。今後、配布物のペーパーレス化についても前向きに取り組んでいきたいと思っております。

### ⑥部活動公開について

→学校行事として、保護者対象の部活動公開は設けておらず、今後もその予定はありません。各部で、所属部員の保護者が練習だったり大会や発表会を観る機会はあると思っておりますが、どの部も自由に観られる一般公開のようなものを設けるのは難しいと思っております。

### ⑦学習道具について

→学習道具の持ち帰りについて各教科で改善できるよう、検討して参ります。現在、鞆の重さの軽減について検討中です。様々な案がある中でどの方策がお子様そしてご家庭にとって最良かを考えておりますので今しばらくお待ちください。

### ⑧学校のきまりの見直しについて

→学校のきまりについては年度当初に検討しております。来年度も検討して参ります。

### ⑨SNSの使い方について

→例年、非行防止教室でSNSの使い方については北海道警察を呼んで講演を行っております。来年度も予定していますが、それ以外にも学級指導や学年指導の充実を図っていきたく考えています。

令和7年度も学習・行事共に、子どもたちに身に付けさせたい力を明確にし、充実した教育活動となるよう引き続き取り組んで参ります。

この件についてのお問い合わせがございましたら、栄中学校 721-3237 教頭 までお願いいたします。

# ICTの活用についてのアンケート 集計表 (全体)

R6

栄中

質 問		肯定的な回答の割合								
		1年	2年	R5 1年	3年	R5 2年	R4 1年	全校	R5全校	R4全校
1	端末を使うことで、勉強がおもしろい、楽しいと思うことがある。	83.2%	90.6%	88.9%	88.7%	88.1%	84.5%	87.6%	86.5%	82.2%
2	疑問や課題を解決するために、端末を使って自分なりに調べようとしている。	85.7%	93.1%	86.4%	94.1%	89.9%	85.0%	91.2%	88.0%	86.3%
3	端末を使う活動で、自分の意見を進んで伝えようとしている。	73.3%	77.4%	71.0%	82.3%	64.8%	67.5%	78.0%	68.5%	66.1%
4	端末を使う活動で、友達の意見を進んで知ろうとしている。	87.0%	90.6%	81.5%	93.6%	86.2%	90.8%	90.6%	84.7%	85.2%
5	端末のアプリケーションを自分で選んで、学習を進めている。	70.2%	73.6%	65.4%	63.1%	61.0%	57.8%	68.5%	63.6%	57.1%
6	家庭で端末を活用することで、学習が充実している。	76.4%	81.1%	72.3%	69.0%	68.5%	68.9%	75.0%	72.5%	66.7%
7	端末を使った交流で気付いたことを自分の学習に取り入れようとしている。	78.3%	82.4%	79.0%	79.3%	77.4%	73.8%	79.9%	-	67.6%
8	プログラミングの学習では、繰り返し試しながら改良していくおもしろさを感じる。(4年生以上が回答してください)	73.9%	69.9%	77.3%	76.2%	77.5%	72.1%	73.5%	73.2%	67.2%
9	端末のアプリケーションを使うことで、いろいろな表現をすることができるようになったと感じる。	83.9%	86.2%	85.2%	86.7%	78.0%	72.8%	85.7%	78.9%	68.7%
10	学習の中で端末を使うことは、勉強の役に立つと思う。	91.3%	95.6%	95.1%	90.6%	94.3%	91.7%	92.4%	91.9%	89.5%
11	端末を活用することで生活をもっと豊かにすることができると思う。	86.3%	89.3%	94.4%	92.6%	89.3%	-	89.7%	89.0%	88.0%
12	端末やスマホ等のICT機器を使うときは、夜遅くにならないなど、時間帯に気を付けて使っている。	68.9%	62.9%	66.7%	58.6%	54.1%	64.6%	63.1%	59.4%	62.2%
13	授業以外で端末を使うときは、時間が長くないよう、使う時間の長さを自分で決めている。	60.2%	60.4%	61.1%	55.2%	61.0%	57.8%	58.3%	58.6%	57.5%
14	端末・アカウント (ID) ・パスワードを適切に取り扱っている。	93.8%	97.5%	97.5%	97.0%	96.2%	97.1%	96.2%	94.6%	95.5%
15	情報の正しい活用の仕方を考えて端末を使っている。	95.7%	96.9%	98.1%	98.5%	95.0%	-	97.1%	94.6%	88.8%

昨年度と比較して大きな違いは見られないが、ほとんどの項目で肯定的な回答の割合が高くなっている。  
 「一人一台端末の活用」が始まって3年。環境の整備とともにICT活用が学校生活の中で定着してきた成果となっている。  
 授業や家庭で活用できるよう、私たち教員個人のスキルアップと学校全体として様々な場面で活用する機会を設けるよう研修を深めていく必要がある。  
 質問項目12・13については引き続き課題として残り、生徒が基本的な生活習慣・学習習慣を身につけられるよう、学校としての取組が求められる。

# 学習などについてのアンケート 集計表 (全体)

R6

栄中

質 問	肯定的な回答の割合								
	1年	2年	R5 1年	3年	R5 2年	R4 1年	全校	R5全校	R4全校
1	80.4%	90.7%	89.0%	92.1%	83.4%	78.4%	88.0%	86.2%	80.6%
2	93.3%	93.8%	94.5%	96.6%	91.2%	93.5%	94.7%	92.5%	93.8%
3	73.0%	82.6%	77.9%	78.3%	68.3%	63.8%	78.0%	70.5%	67.7%
4	95.7%	96.9%	95.9%	98.5%	97.2%	96.0%	97.2%	95.1%	95.0%
5	95.7%	95.7%	94.5%	97.0%	93.8%	97.5%	96.2%	93.4%	94.6%
6	74.8%	82.0%	79.3%	91.6%	81.4%	81.4%	83.5%	79.6%	79.3%
7	62.0%	68.3%	59.3%	66.5%	57.2%	50.8%	65.7%	56.2%	48.3%
8	82.2%	83.9%	82.8%	91.6%	80.7%	89.4%	86.3%	83.6%	88.4%
9	86.5%	89.4%	90.3%	93.6%	86.2%	85.4%	90.1%	85.5%	83.2%
10	84.7%	83.9%	84.8%	83.3%	76.6%	77.4%	83.9%	79.9%	77.6%
11	80.4%	76.4%	79.3%	77.3%	77.9%	80.9%	78.0%	75.2%	83.0%
12	76.7%	80.7%	88.3%	85.7%	75.9%	75.9%	81.4%	82.7%	80.4%
13	77.3%	78.3%	87.6%	81.3%	79.3%	78.4%	79.1%	81.5%	80.0%
14	92.0%	93.8%	89.0%	95.1%	93.1%	92.0%	93.7%	91.3%	91.6%
15	76.7%	82.6%	71.7%	84.7%	75.9%	74.4%	81.6%	72.6%	72.6%
16	83.4%	84.5%	85.5%	88.7%	81.4%	83.9%	85.8%	84.1%	85.1%
17	76.1%	75.8%	73.1%	80.8%	66.9%	-	77.8%	69.8%	-
18	64.4%	63.4%	72.4%	64.5%	66.9%	67.8%	64.1%	65.8%	68.1%
19	67.5%	61.5%	64.1%	52.7%	50.3%	64.3%	60.0%	54.1%	57.3%
20	79.1%	80.1%	86.2%	82.8%	78.6%	78.9%	80.8%	82.2%	79.9%
21	83.4%	75.2%	84.8%	80.3%	76.6%	72.9%	79.7%	78.9%	76.7%
22	85.9%	83.2%	91.0%	85.7%	84.8%	80.9%	85.0%	87.1%	83.8%
23	72.4%	70.8%	70.3%	74.9%	69.7%	69.3%	72.9%	66.7%	69.0%
24	71.8%	78.3%	72.4%	73.9%	74.5%	71.9%	74.6%	72.1%	71.8%
25	92.6%	85.7%	95.2%	97.5%	89.0%	-	92.4%	89.7%	-
26	86.5%	85.1%	91.0%	92.6%	83.4%	-	88.4%	85.7%	-
27	84.0%	81.4%	86.2%	86.2%	84.1%	-	84.1%	85.0%	-
28	52.1%	59.0%	64.8%	63.5%	54.5%	-	58.6%	56.7%	-
29	93.3%	95.7%	95.9%	96.1%	94.5%	-	95.1%	93.7%	-
30	81.6%	90.1%	82.8%	86.2%	80.7%	-	86.0%	82.4%	-
31	80.4%	82.6%	88.3%	82.3%	77.9%	-	81.8%	81.3%	-
32	92.6%	93.2%	90.3%	88.7%	90.3%	-	91.3%	89.2%	-
33	89.0%	89.4%	84.8%	94.1%	88.3%	-	91.1%	86.2%	-
34	89.0%	90.7%	82.8%	92.1%	89.0%	79.9%	90.7%	85.2%	77.6%

昨年度と比較して大きな違いは見られないが、ほとんどの項目で肯定的な回答の割合が高くなっている。  
 今年度の課題として挙げられていた3「自分が必要とされていると感じる」もわずかながら上がっている。ICT活用アンケートにもあるように、自分の意見を進んで発表することは苦手と感じる様子が見られるが、友達の見解を進んで知ろうとしたり、交流で気づいたことを自分の学習に取り入れようとしたりと学習に対する意欲の向上や自分でできた達成感などから相互承認の感度が高まったと考えられる。  
 自分の目標を立てて生活することや1日の時間の使い方、自分で計画を立てて勉強することが課題である。生徒が基本的な生活習慣・学習習慣を身につけられるよう、学校としての取組が求められる。(AARサイクルの視点と関連させる)

## 令和6年度 自己評価及び学校関係者評価

令和7年2月28日  
札幌市立栄中学校

## 1 本年度の経営方針 ～生徒の自立を育む学校の創造～

- 「自分は大切にされている」と実感できる人間尊重の教育の推進
- 創意ある教育課程の編成・実践・評価・改善を目指す学校経営
- 生徒一人一人が生き生きと活動する学校経営
- 教師としての専門性の向上と全教職員参加の学校経営
- 保護者や地域社会との連携を一層深め、地域社会に開かれた学校経営

## 2 本年度の重点目標

- 一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる人間尊重の教育の推進
- 新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえ、実態に即した教育課程の編成・実施・評価の推進
- 意欲を高め、生徒が自ら学ぶ教科指導の推進
- 生徒理解に基づく生徒指導の推進
- 心を豊かにする潤いのある教育環境づくりの推進
- 計画的な研修の推進
- 一人一人のニーズに応じた特別支援教育の推進
- 札幌らしいコミュニティ・スクール導入を見据えた小中一貫した教育の推進

## 3 自己評価に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学校経営	生徒の個性や多様性を認め、生徒一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる教育活動を行っている。	A	教職員自ら人間尊重の意識を向上させることにより、すべての教育活動において生徒一人一人に手厚い支援を実現する。教育活動全般を通して、お互いの良さを見つけ、認め合う場面を作る。	A	A
	学校説明会やPTA集会等を通して、教育方針を伝えている。	A	昨年度同様、学校での説明会に加えてHPに動画を掲載して行った。学校だよりやHP、学校公開日を通じて全職員で伝える場面を設け、学校教育への理解を高められるよう取り組む。	A	A
	生徒の意欲につながる適切でわかりやすい評価・評定に努めている。	B	個々の生徒へのはたらきかけや助言の機会を増やし、適切な励ましを継続していく。評価・評定について全職員が研修し、共通理解のもと、指導と評価の一体化を実現するよう努める。また、学習活動における生徒への周知徹底はもちろん、教育相談・期末懇談などにより理解を深める。	A	A
	保護者や地域社会に対して、学校だよりやホームページ等を通して学校の様子を伝えている。	A	学校行事はもちろんのこと、日常活動や諸活動の様子を積極的に配信し、保護者や地域に開かれた学校づくりを目指したHPの充実に努める。また、学校だよりを通じて教育活動への理解を高めると同時に協力を仰ぐ機会にする。	A	A
	保護者や地域と協力して教育活動を行っている。	A	昨年度よりも学校公開日を多く設け、保護者の来校機会を増やした。保護者が繰り返し学校に足を運んでいただけるように、行事だけでなく日常の様子の参観も呼びかけていく。小中一貫した教育におけるパートナー校との6年生による中学校訪問や本校3年生による母校訪問、おはプロ(あいさつ運動)の活動など今後も連携し、協力して進める。	A	A
学校関係者評価委員による意見	学校公開日の実施が増え、保護者の都合に合わせて行きやすくなった。すぐるでのおたよりの配信も非常に助かっている。今後とも家庭や地域との連携を重視し、いろいろな取組を進めてほしい。学校内のことなので、先生方の評価が適切であると感じる。地域としては、引き続き登下校の見守りを行っていく。また、生徒の皆さんに地域行事やちよぼら隊の活動に参加してもらうことでコミュニケーションを大事にしていきたい。				

学習指導	基礎・基本となる知識・技能のより一層の定着を目指した学習指導の充実を図っている。	B	基礎・基本の定着のために、個別の対応、生徒同士の教え合いなど日々の授業を充実させる。また、他教科とも連携をとりながら、ICTを活用した授業の工夫やベーシックチャレンジなどの学習サポート活動を工夫し改善していく。 家庭の協力を得て、家庭学習の推進にも努める。	A	A
	わかりやすい授業に努め、生徒の理解度に気を配っている。	A	生徒に基礎基本の定着はもちろん、思考力・判断力を身に付けさせられるよう日々教材研究と授業実践を積み重ねていく。加えて、生徒の書いた評価物等も丁寧に見取り、理解度の分析に努める。また、主体的に課題をみつけ協働することで学習が「わかる・できる・楽しい」と思える授業づくりを継続して行っていく。	A	A
	道徳の授業や講演会などを通じて、命の尊さや思いやりの心の成長を育む教育活動を行っている。	A	今年度も学年でローテーションを組み、年間を通して計画的、かつ教師の個性を生かして指導することができた。研修部や生徒支援部と連携して講演会を企画し、さらに心の成長を育む教育活動を推進する。(警察による講話『薬物乱用の防止』『SNSの利用に起因する犯罪被害防止』)	A	A
	各学年における調べ学習・進路探求・キャリア教育を適切に行っている。	A	各教科の授業をはじめ、学活や総合的な学習の時間など多くの場面でICTを活用することで自分の意見をまとめて発表する力が身に付いてきた。また、各学年で職業講話・職場体験・上級学校訪問を実施することができ、そのまとめをグーグルスライドで行った。さらに発表会には他学年も参観し、学年の枠を超えて学び合うことで生徒の興味や関心を高めることができた。	A	A
学校関係者評価委員による意見	生徒のために取り組んでいると感じる。結果よりも取組(プロセス)が適切かを見極めて継続することを大事にしてほしい。				
生徒指導・生徒支援	生徒があいさつを含めた公共のマナーや、校外外での決まりを守るよう十分に指導している。	A	あいさつやマナーなど集団生活の基本と社会的規範を踏まえた生徒指導を今後も継続して行う。また、生徒間で意識を高められるよう、委員会活動を活発化させ、学校内のみならず、生徒と保護者や地域の方々とあいさつをする場面などの関わる機会を設定する。	A	A
	子どもたちの悩みや問題について、適切にかかわっている。	A	シャボテンログやアンケートをもとに教育相談を実施し、普段の生徒の様子から悩みや問題の早期発見に努めた。生徒の悩みも多様化している実態に合わせ、一層寄り添っていけるように研修会等の充実を図る。今後も日常生活の中で生徒が相談しやすい環境づくりを心掛け、教職員と共有して、問題解決にあたっては組織的な対応を心がける。	A	A
	いじめや暴力のない学校づくりに努めている。	A	いじめアンケートを有効に利用し、学年や生徒支援部と連携して未然の事故防止に努める。毎月1回の生徒指導委員会で情報を共有し、今後も「いじめは許さない」といった全職員の姿勢を保ち、お互いを尊重しあう人間関係の形成を図る。	A	A
学校関係者評価委員による意見	生徒の人数は減ってきているが、心に抱える悩みや問題は多様化し、限られた人数で対応する先生の負担も大きいと感じる。段階を踏んで学校で対応するのか、関係機関に任せるのか見極めながら進めてほしい。 学校に相談すべきか、他機関なのか、どこにどう助けを求めたらいいのかわからない保護者もいる。学校以外にも親のSOSを拾える手段があるのなら、すぐるや学校HPを通して情報発信してほしい。				

特別活動	学校行事を始め生徒会活動の充実を図っている。	A	行事の取組や学年の様々な活動の中で生徒のよさや可能性を伸ばし、自己肯定感を高める取組を進めていきたい。	A	A
	校内の環境美化に積極的に取り組んでいる。	A	保体部を中心に計画的に清掃活動を充実させ、また、文化委員会の活動を通じて、掲示物や美化活動を行っていく。今後も新校舎を大切に、愛校心を育む。	A	A
学校関係者評価委員による意見	学校公開日に来る度に、校内の環境美化に努めていることが伝わる。今後も生徒の個性を生かしたり自主性を伸ばすような取組に力を入れてほしい。				